

歯科 経営 情報

REPORT

Available Information Report for
dental Management



経営

2025年決算データからみる 歯科診療所経営 実績分析

- 1 2025年 経営実績とその傾向
- 2 2025年 収入上位診療所の経営実績
- 3 2025年 収入ランク別経営実績
- 4 2025年 医療法人経営指標分析結果

中央税務会計事務所

2026

4

APR

1. 2025 年 経営実績とその傾向

1 2025 年経営実績の概要

本調査は 2025 年の決算書に基づいて、実数値から経営状況を把握することを目的としています。その上で、前年度との比較を通して、経営状況の変化を分析しています。抽出したデータは、2025 年に決算を終えた歯科診療所 316 件（医療法人 90 件、個人開業 226 件）で、その平均値を算出しています。

なお、本分析では、人件費から役員報酬と専従者給与は除いています。

■2025 年 比較要約変動損益計算書

（単位：千円）

	2024 年	2025 年	前年対比
I 医業収入	67,788	72,475	106.9%
1. 保険診療収入	55,373	58,701	106.0%
2. 自由診療収入	12,023	13,327	110.8%
3. その他の医業収入	392	447	114.0%
II 変動費	12,375	13,413	108.4%
1. 医薬・歯科材料費	5,867	6,239	106.3%
2. 外注技工料	6,508	7,174	110.2%
III 限界利益	55,413	59,062	106.6%
IV 医業費用	34,567	35,562	102.9%
1. 人件費	12,552	13,386	106.6%
2. 減価償却費	5,238	5,266	100.5%
3. 接待交際費	1,045	926	88.6%
4. 研究研修費	323	335	103.7%
5. 保険料	904	875	96.8%
6. 消耗器具備品費	1,163	1,198	103.0%
7. その他経費	13,342	13,576	101.8%
V 医業利益	20,846	23,500	112.7%

2 全体動向と利益の傾向

(1) 全体動向

2025 年における歯科診療所の経営実績は、2024 年と比較して増収増益となりました。保険診療収入は 6.0%、自由診療収入は 10.8%の増加になっています。

自由診療が 10.8%の伸びを示した要因としては、う蝕治療から予防歯科や美容歯科（審美歯科）への取り組みが増加したことが影響していると思われます。

■ 医業収入・費用等全体の傾向

● 医業収入

医業収入は 72,475 千円で、4,687 千円（前年対比 6.9%）の増加となっています。内訳としては、保険診療収入が 3,328 千円（同 6.0%）、自由診療収入が 1,304 千円（同 10.8%）、その他の医業収入が 55 千円（同 14.0%）の増加となりました。

● 変動費

変動費（医薬・歯科材料費、外注技工料）は 13,413 千円で、1,038 千円（前年対比 8.4%）の増加となっています。

● 医業費用

医業費用は 35,562 千円で、995 千円（前年対比 2.9%）の増加となっています。

その内訳としては、人件費（同 6.6%）、消耗器具備品費（同 3.0%）、研究研修費（同 3.7%）、減価償却費（同 0.5%）、その他経費（同 1.8%）は増加し、保険料（同△3.2%）、接待交際費（同△11.4%）は減少しています。

● 医業利益

医業利益は 23,500 千円で、2,654 千円（前年対比 12.7%）の増加となっています。

(2) 利益状況

限界利益、医業利益ともに増加し、限界利益が前年対比 6.6%、医業利益は同 12.7%増加という結果となりました。

■ 限界利益・医業利益

（単位：千円）

	2024年	2025年	前年対比
限界利益	55,413	59,062	106.6%
医業利益	20,846	23,500	112.7%

3 医業収入の傾向

医業収入の実績は、下記のとおりです。医業収入の合計では、前年対比 6.9%、保険診療収入が 6.0%、自由診療収入が 10.8%、その他の医業収入が 14.0%の増加となっています。

■ 医業収入

(単位：千円)

	2024 年	2025 年	前年対比
医業収入合計	67,788	72,475	106.9%
保険診療収入	55,373	58,701	106.0%
自由診療収入	12,023	13,327	110.8%
その他の医業収入	392	447	114.0%

■ 医業収入分析

● 医業収入

医業収入は 72,475 千円で 4,687 千円の増加となりました。

内訳としては、保険診療収入は 3,328 千円（前年対比 6.0%）、自由診療収入は 1,304 千円（同 10.8%）の増加となりました。

● 総収入に占める自由診療収入の割合

2024 年は 17.7%、2025 年では 18.4%で増加となっています。

4 医業費用の傾向

(1) 医業費用前年対比

医業費用の実績は、次のとおりです。

変動費は 8.4%、人件費は 6.6%、その他医業費用は 0.7%増加しました。なお、人件費には、役員報酬及び専従者給与は含まれていませんが、それぞれ個別に集計し、参考データとして掲載しました。役員報酬の母数は 90 件、専従者給与の母数は 226 件となっています。

① 変動費（歯科材料費・外注技工料）

(単位：千円)

	2024 年	2025 年	前年対比
変動費合計	12,375	13,413	108.4%
変動費率	18.3%	18.5%	—
医薬・歯科材料費	5,867	6,239	106.3%
外注技工料	6,508	7,174	110.2%

②人件費

(単位：千円)

	2024 年	2025 年	前年対比
人件費合計	12,552	13,386	106.6%
(参考) 役員報酬	20,011	20,661	103.2%
(参考) 専従者給与	2,399	2,453	102.3%

③その他医業費用

(単位：千円)

	2024 年	2025 年	前年対比
その他医業費用合計	22,015	22,176	100.7%
減価償却費	5,238	5,266	100.5%
接待交際費	1,045	926	88.6%
研究研修費	323	335	103.7%
保険料	904	875	96.8%
消耗器具備品費	1,163	1,198	103.0%
その他経費	13,342	13,576	101.8%

(2)医業費用の傾向

●変動費

変動費は 13,413 千円で、1,038 千円増加しています。

医薬・歯科材料費は 372 千円、外注技工料は 666 千円増加しています。

●人件費

人件費は 13,386 千円で、834 千円の増加となりました。役員報酬は 2025 年平均で 20,661 千円、前年対比 3.2%と増加になっています。また、専従者給与の平均は 2,453 千円、前年対比 2.3%と増加となっています。

人件費の増加要因としては、一昨年よりの施策で、社会情勢が昇給に向かったことが大きく影響したものと思われます。

●その他医業費用（人件費以外の医業経費）

その他医業費用は 22,176 千円で、161 千円の増加となりました。そのうち減価償却費が 28 千円増加しているため、実質的なその他医業費用は 133 千円増加しています。

2. 2025 年 収入上位診療所の経営実績

1 収入上位診療所の経営実績の概要

第1章で分析した歯科診療所 316 件（医療法人 90 件、個人開業 226 件）の決算書より、医業収入上位 20%を抽出し、経営データを再集計しました。対象は 64 件で、内訳は医療法人 38 件、個人開業 26 件となっています。

なお本分析でも人件費から役員報酬と専従者給与は除いています。

■2025 年 収入上位診療所比較要約変動損益計算書

（単位：千円）

	2024 年	2025 年	前年対比
I 医業収入	142,758	156,853	109.9%
1. 保険診療収入	106,370	115,963	109.0%
2. 自由診療収入	35,536	39,958	112.4%
3. その他の医業収入	852	932	109.4%
II 変動費	24,875	27,376	110.1%
1. 医薬・歯科材料費	11,997	13,125	109.4%
2. 外注技工料	12,878	14,251	110.7%
III 限界利益	117,883	129,477	109.8%
IV 医業費用	77,175	83,253	107.9%
1. 人件費	33,675	36,265	107.7%
2. 減価償却費	9,719	10,010	103.0%
3. 接待交際費	1,667	1,700	102.0%
4. 研究研修費	874	1,008	115.3%
5. 保険料	2,080	1,970	94.7%
6. 消耗器具備品費	3,068	3,190	104.0%
7. その他経費	26,092	29,110	111.6%
V 医業利益	40,708	46,224	113.6%

2 収入上位診療所の動向と利益の傾向

(1) 経営動向と利益状況

2025 年の経営実績は、収入上位診療所では増収増益となりました。保険診療収入、自由診療収入、その他医業収入も増加しています。

■ 医業収入・費用等全体の状況

● 医業収入

医業収入は 156,853 千円で、14,095 千円（前年対比 9.9%）の増加となっています。内訳をみると、保険診療収入が 9,593 千円（同 9.0%）、自由診療収入は 4,422 千円（同 12.4%）、その他の医業収入は 80 千円（同 9.4%）の増加となりました。

● 変動費

変動費（医薬・歯科材料費、外注技工料）は 27,376 千円で、2,501 千円（前年対比 10.1%）の増加となりました。

● 医業費用

変動費以外の医業費用は 83,253 千円で、6,078 千円（前年対比 7.9%）の増加となりました。保険料が減少し、人件費、減価償却費、接待交際費、研究研修費、消耗器具備品費、その他経費が増加しています。

● 医業利益

医業利益は 46,224 千円で、5,516 千円（前年対比 13.6%）の増加となりました。

(2) 利益動向

限界利益は 11,594 千円の増加で、医業利益については 5,516 千円の増加となり、限界利益が前年対比 9.8%、医業利益は同 13.6% 増加という結果となりました。

■ 限界利益・医業利益

（単位：千円）

	2024 年	2025 年	前年対比
限界利益	117,883	129,477	109.8%
医業利益	40,708	46,224	113.6%

3 医業収入の傾向

収入上位 20%の歯科診療所の医業収入の実績は下記のとおりです。

医業収入合計では、前年対比 109.9%となっており、保険診療収入、自由診療収入、その他の医業収入とも伸びを示しています。

(1) 医業収入 前年対比較

(単位：千円)

	2024 年	2025 年	前年対比
医業収入合計	142,758	156,853	109.9%
保険診療収入	106,370	115,963	109.0%
自由診療収入	35,536	39,958	112.4%
その他の医業収入	852	932	109.4%

(2) 医業収入分析

● 医業収入

医業収入は 156,853 千円で、14,095 千円（前年対比 9.9%）の増加となりました。保険診療収入が 9,593 千円（同 9.0%）、自由診療収入が 4,422 千円（同 12.4%）、その他の医業収入が 80 千円（同 9.4%）増加しています。

4 医業費用の傾向

(1) 医業費用前年対比

医業費用をみると、変動費は 10.1%、人件費は 7.7%増加しており、その他医業費用としては 8.0%増加しています。なお、人件費の取り扱いについては前述のとおりで、役員報酬の母数は 38 件、専従者給与の母数は 26 件となります。

① 変動費（歯科材料費・外注技工料）

(単位：千円)

	2024 年	2025 年	前年対比
変動費合計	24,875	27,376	110.1%
変動比率	17.4%	17.5%	—
医薬・歯科材料費	11,997	13,125	109.4%
外注技工料	12,878	14,251	110.7%

②人件費

(単位：千円)

	2024 年	2025 年	前年対比
人件費合計	33,675	36,265	107.7%
(参考) 役員報酬	16,615	17,404	104.7%
(参考) 専従者給与	2,840	2,785	98.1%

③その他医業費用

(単位：千円)

	2024 年	2025 年	前年対比
その他医業費用合計	43,500	46,988	108.0%
減価償却費	9,719	10,010	103.0%
接待交際費	1,667	1,700	102.0%
研究研修費	874	1,008	115.3%
保険料	2,080	1,970	94.7%
消耗器具備品費	3,068	3,190	104.0%
その他経費	26,092	29,110	111.6%

(2)医業費用分析

●変動費

変動費は 27,376 千円で、2,501 千円（前年対比 10.1%）の増加となっています。

●人件費

人件費は 36,265 千円で、2,590 千円（前年対比 7.7%）の増加となっています。役員報酬は 2025 年平均で 17,404 千円、前年対比 4.7%の増加となっています。

社会情勢の影響による昇給に向けた動きや、最低賃金の上昇により、スタッフ給与を大きく上げた一方で、役員報酬は抑制傾向になったことが考えられます。

●その他医業費用（人件費以外の医業経費）

その他医業費用は 46,988 千円で、3,488 千円（前年対比 8.0%）の増加となっています。

物価上昇に伴う様々な値上げ等の影響が出ていると思われます。

3. 2025 年 収入ランク別経営実績

1 収入ランク別経営実績の概要

本章では、2025 年に決算を終えた歯科診療所 316 件（医療法人 90 件、個人開業 226 件）を、医業収入が年間 5 千万円未満、5 千万円以上 1 億円未満、1 億円以上に分けてデータを抽出し、分析しました。

第 2 章のデータ同様、人件費から役員報酬と専従者給与は除いています。

■各データのサンプル数

● 5 千万円未満	123 件（医療法人 12 件 個人開業 111 件）
● 5 千万円以上 1 億円未満	132 件（医療法人 43 件 個人開業 89 件）
● 1 億円以上	61 件（医療法人 35 件 個人開業 26 件）

医業収入別の個別データは、次ページ以降に掲載しました。収入ランク別に集計した主要データは、下記のとおりです。

■2025 年 収入ランク別主要データ

（単位：千円）

医業収入 ランク	5 千万円未満 平均	5 千万円以上～ 1 億円未満平均	1 億円以上 平均
医業収入	31,309	70,591	159,694
変動費	5,879	13,642	27,926
限界利益	25,430	56,949	131,768
人件費	5,631	13,078	40,199
その他医業費用	11,250	21,646	55,026
医業利益	8,549	22,225	36,543

2 収入ランク別診療所経営実績分析結果

(1) 医業収入5千万円未満の診療所の平均データ

医業収入 5 千万円未満診療所の歯科診療所は、増収増益となりました。医業収入は 460 千円（前年対比 1.5%）、医業利益は 265 千円（同 3.2%）の増加となりました。

物価上昇に伴い、医療原価の上昇があった中でも、経費削減等に積極的に取り組んだ結果だと思われます。

■2025年 比較要約変動損益計算書

（単位：千円）

	2024 年	2025 年	前年対比
I 医業収入	30,849	31,309	101.5%
1. 保険診療収入	27,651	28,071	101.5%
2. 自由診療収入	3,026	3,033	100.2%
3. その他の医業収入	172	205	119.2%
II 変動費	5,659	5,879	103.9%
1. 医薬・歯科材料費	2,623	2,693	102.7%
2. 外注技工料	3,033	3,186	105.0%
III 限界利益	25,190	25,430	101.0%
IV 医業費用	16,906	16,881	99.9%
1. 人件費	5,724	5,631	98.4%
2. 減価償却費	2,851	2,743	96.2%
3. 接待交際費	410	394	96.1%
4. 研究研修費	93	75	80.6%
5. 保険料	190	191	100.5%
6. 消耗器具備品費	278	287	103.2%
7. その他経費	7,360	7,560	102.7%
V 医業利益	8,284	8,549	103.2%

n=123 件（医療法人 12 件 個人開業 111 件）

(2) 医業収入5千万円以上～1億円未満の診療所の平均データ

医業収入5千万円以上～1億円未満の歯科診療所は増収増益となりました。

医業収入は4,050千円（前年対比6.1%）の増加で、医業利益は2,036千円（同10.1%）の増加となりました。

人件費の増加分を、減価償却費や研究研修費、保険料を抑えて経費削減を図ったことが奏功したものと思われます。

■2025年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	2024年	2025年	前年対比
I 医業収入	66,541	70,591	106.1%
1. 保険診療収入	56,903	59,923	105.3%
2. 自由診療収入	9,227	10,206	110.6%
3. その他の医業収入	411	462	112.4%
II 変動費	12,600	13,642	108.3%
1. 医薬・歯科材料費	5,891	6,148	104.4%
2. 外注技工料	6,709	7,494	111.7%
III 限界利益	53,941	56,949	105.6%
IV 医業費用	33,752	34,724	102.9%
1. 人件費	12,294	13,078	106.4%
2. 減価償却費	5,364	5,349	99.7%
3. 接待交際費	1,020	1,028	100.8%
4. 研究研修費	282	249	88.3%
5. 保険料	724	707	97.7%
6. 消耗器具備品費	984	1,023	104.0%
7. その他経費	13,084	13,290	101.6%
V 医業利益	20,189	22,225	110.1%

n=132件（医療法人 43件 個人開業 89件）

(3) 医業収入1億円以上の診療所の平均データ

医業収入1億円以上の歯科診療所は、増収増益の結果となりました。医業収入は、14,735千円（前年対比10.2%）、医業利益は5,462千円（同17.6%）の増加となりました。

（2）同様、人件費の上昇はありましたが、医業収入の増加、特に自由診療への取り組みにより医業利益の増加につながったと思われます。

■2025年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	2024年	2025年	前年対比
I 医業収入	144,959	159,694	110.2%
1. 保険診療収入	107,893	117,948	109.3%
2. 自由診療収入	36,260	40,831	112.6%
3. その他の医業収入	806	915	113.5%
II 変動費	25,313	27,926	110.3%
1. 医薬・歯科材料費	12,246	13,441	109.8%
2. 外注技工料	13,067	14,485	110.9%
III 限界利益	119,646	131,768	110.1%
IV 医業費用	88,565	95,225	107.5%
1. 人件費	37,395	40,199	107.5%
2. 減価償却費	9,819	10,208	104.0%
3. 接待交際費	1,695	1,734	102.3%
4. 研究研修費	867	1,001	115.5%
5. 保険料	2,101	1,981	94.3%
6. 消耗器具備品費	3,087	3,211	104.0%
7. その他経費	33,601	36,891	109.8%
V 医業利益	31,081	36,543	117.6%

n=61件（医療法人 35件 個人開業 26件）

4. 2025 年 医療法人経営指標分析結果

1 2025 年 医療法人経営指標分析結果

本章では、医療法人歯科診療所 96 件の貸借対照表の数値から経営指標を算出し、収益性、生産性、安全性、成長性の 4 つの視点で分析を行いました。

第 3 章までの分析は、医療法人・個人開業のデータを合算したものでしたが、経営指標分析においては医療法人歯科診療所を対象としています。

■2025年 比較貸借対照表 医療法人

(単位：千円)

資産の部			負債の部		
	2024 年	2025 年		2024 年	2025 年
【流動資産】	51,183	53,763	【流動負債】	12,124	13,448
現金・預金	30,329	30,512	買掛金	1,353	1,520
医業未収金	11,978	12,684	その他	10,771	11,928
その他	8,876	10,567			
【固定資産】	47,192	49,138	【固定負債】	47,416	43,896
有形固定資産	28,882	29,616	長期借入金	38,506	34,343
無形固定資産	3,333	3,882	その他	8,910	9,553
その他の資産	14,977	15,640			
			負債合計	59,540	57,344
			純資産の部		
				2024 年	2025 年
			【出資金】	4,402	4,519
			【前期繰越利益】	30,858	37,487
			【当期純利益】	3,575	3,551
			純資産合計	38,835	45,557
資産合計	98,375	102,901	負債・純資産合計	98,375	102,901

経営分析に必要となる主要損益数値は、次のとおりです。役員及び職員数についてはその平均値から、役員 3 名および職員 8 名の計 11 名で計算しています。

■2025年 比較損益計算書（医療法人 歯科診療所平均）

（単位：千円）

	2024 年	2025 年	前年対比
医業収入計	101,292	106,818	105.5%
限界利益	83,453	87,474	104.8%
給与費計	26,574	26,779	100.8%
医業利益	3,857	5,210	135.1%
経常利益	7,007	9,245	131.9%

2 収益性分析 前年対比

		2024 年	2025 年	増減
収益性	総資本経常利益率	7.1%	9.0%	1.9 ポイント
	医業収入医業利益率	2.9%	4.9%	2.0 ポイント
	医業収入経常利益率	6.9%	8.7%	1.8 ポイント
	総資本回転率	1.03 回	1.04 回	0.01 回

■指標計算式

指標名	目的	計算式
総資本経常利益率	資本を使ってどれだけ効率的に利益を上げたかを見る指標。高いほど効率的で、低いほど効率が悪い。	$\frac{\text{経常利益}}{\text{総資本}} \times 100$ (%)
医業収入医業利益率	医業の収益力。高いほど採算良好、低いほど採算が弱い。	$\frac{\text{医業利益}}{\text{売上高}} \times 100$ (%)
医業収入経常利益率	経常的な収益力。高いほど利益確保良好、低いほど弱い。	$\frac{\text{経常利益}}{\text{医業収入}} \times 100$ (%)
総資本回転率	資本の回転効率。高いほど収入効率良好、低いほど非効率。	$\frac{\text{医業収入}}{\text{総資本}}$

■収益性分析コメント

●利益率

総資本経常利益率は 9.0% で、前年対比 1.9 ポイント増加し、医業収入医業利益率は 4.9% で前年対比 2.0 ポイント増加し、医業収入経常利益率は 8.7% で、前年に比べ 1.8 ポイント増加しました。

●総資本回転率

総資本回転率は 1.04 回で、前年対比 0.01 回増加という結果となりました。

3 生産性分析 前年対比

		2024 年	2025 年	増減
生産性	限界利益率	82.4%	81.9%	△0.5 ポイント
	一人当たり医業収入/月	1,055 千円	1,113 千円	58 千円
	一人当たり限界利益/月	869 千円	911 千円	42 千円
	一人当たり人件費/月	277 千円	279 千円	2 千円
	労働分配率	31.8%	30.6%	△1.2 ポイント

■指標計算式

指標名	目的	計算式
限界利益率	収入に対する付加価値の大きさ。高いほど良好、低いほど変動費負担が重い。	限界利益 ÷ 医業収入 × 100 (%)
一人当たり医業収入	職員一人当たりの売上水準。高いほど効率的、低いほど効率が低い。	(医業収入 ÷ 職員数) ÷ 12 ヶ月
一人当たり限界利益	職員一人当たりの付加価値。高いほど生産性が高く、低いほど低い。	(限界利益 ÷ 職員数) ÷ 12 ヶ月
一人当たり人件費	職員一人当たりの人件費負担。高いほど負担大、低いほど負担小。	(総額人件費 ÷ 職員数) ÷ 12 ヶ月
労働分配率	限界利益に対する人件費割合。高いほど利益余力が小さく、低いほど余力が大きい。	総額人件費 ÷ 限界利益 × 100 (%)

■生産性分析コメント

- 限界利益率・・・2025 年は 81.9% で、前年対比 0.5 ポイント減少しました。
- 一人当たり医業収入・・・2025 年は 1,113 千円で、前年対比 58 千円増加しました。
- 一人当たり限界利益・・・2025 年は 911 千円で、前年対比 42 千円増加しました。
- 一人当たり人件費・・・2025 年は 279 千円で、前年対比 2 千円増加しました。
- 労働分配率・・・2025 年は 30.6% で、前年対比 1.2 ポイント減少しました。

4 安全性分析 前年対比

		2024 年	2025 年	増減
安全性	流動比率	422.2%	399.8%	△22.4 ポイント
	当座比率	349.0%	321.2%	△27.8 ポイント
	固定比率	121.5%	107.9%	△13.6 ポイント
	固定長期適合率	54.7%	54.9%	0.2 ポイント
	自己資本率	39.5%	44.3%	4.8 ポイント

■指標計算式

指標名	目的	計算式
流動比率	短期的な債務返済能力。高いほど安全、低いほど資金繰り余裕が小さい。	流動資産 ÷ 流動負債 × 100(%)
当座比率	換金性の高い資産による支払能力。高いほど安全、低いほど弱い。	当座資産 ÷ 流動負債 × 100(%)
固定比率	固定資産の自己資本依存度。低いほど安全、高いほど負担が大きい。	固定資産 ÷ 自己資本 × 100(%)
固定長期適合率	固定資産と長期資金のバランス。低いほど安全、高いほど不安定。	固定資産 ÷ (自己資本 + 固定負債) × 100(%)
自己資本比率	財務基盤の安定性。高いほど安定、低いほど借入依存が大きい。	自己資本 ÷ 総資産 × 100(%)

■安全性分析コメント

2025 年の指標では、流動比率は 399.8%となっており、短期的な債務返済能力は高い水準にあり、また換金可能な資産による債務返済能力も高いといえます。
自己資本比率も他業種と比較して高い水準にあり、財務体質は健全と評価できます。

5 成長性分析 前年対比

		2024 年	2025 年
成長性	医業収入増加率	3.5%	5.5%
	限界利益増加率	2.3%	4.8%
	医業利益増加率	0.3%	35.1%
	経常利益増加率	2.6%	31.9%

■成長性分析コメント

2025 年の経営実績は、医業収入の増加により限界利益、医業利益、経常利益も増加する結果となりました。

2025 年は、年明けにはまだ新型コロナウイルス感染症や百日咳、インフルエンザの影響が残り、受診を控える患者がいましたが、春以降は感染も落ち着いて患者数が回復してきました。

また、診療報酬改定により、施設基準によるベースアップ加算に伴う増収も影響したと考えられます。さらに、人件費アップに向けた施策誘導を自由診療（審美歯科）等による増収要因でカバーした結果になっています。

※本文中、各表の金額は表示単位未満を四捨五入しており、端数処理の関係上合計が一致しない場合があります。